

# サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ サイエンスキャンプ

- vol.9 -

講義や実習を通して最先端の科学を楽しく学びませんか。また、リケジョの先輩達が様々な理系分野の中からどのように専攻を決めたのか、研究の楽しさ、研究室の様子や学生生活、大学卒業後の進路などについて一緒にお話ししましょう。



**開催日：2020年3月21日(土)～22日(日)**

**応募期間：2020年1月6日(月)～2月5日(水) 5:00pm 必着**

**会場：沖縄科学技術大学院大学 (OIST)**  
(国頭郡恩納村字谷茶1919-1)

**対象：県内中学校・高校に通う女子中高生 40名程度**

**参加費：1,500円 ※宿泊費無料、離島交通費補助あり**

**その他：申込方法等、詳細は裏面をご覧ください。**

令和元年度科学技術振興機構 (JST) の女子中高生の理系進路選択支援プログラム採択事業

主催：国立大学法人琉球大学、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園

後援：沖縄県、沖縄科学技術大学院大学発展促進県民会議

沖縄県教育委員会

お問合せ：琉球大学教育支援課教育支援係

TEL：098-895-8848 FAX：098-895-8850

E-mail：[kyshien@acs.u-ryukyu.ac.jp](mailto:kyshien@acs.u-ryukyu.ac.jp)



この活動は、沖縄科学技術大学院大学発展促進県民会議への寄付金で支援しています(平成31年3月31日現在)

寄附者一覧(順不同)：公益財団法人 沖縄科学技術振興センター、一般社団法人 沖縄県軍用地等地主会連合会、沖縄経済同友会、公益社団法人 沖縄県工業連合会、沖縄県農業協同組合中央会、公益社団法人 沖縄県農林水産団体共済会、一般社団法人 沖縄県医師会、株式会社 琉球新報社、沖縄県生コンクリート工業組合、一般社団法人 沖縄県建設産業団体連合会、公益社団法人 沖縄県宅地建物取引業協会、在沖米商工会議所、沖縄通信ネットワーク株式会社、一般社団法人 沖縄県薬剤師会、沖縄県商工会議所連合会、一般社団法人 沖縄県PTA連合会、一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会、東西センター沖縄同窓会、一般社団法人 沖縄県歯科医師会、一般社団法人 沖縄県銀行協会、合資会社 平安名組、沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合、日本公認会計士協会沖縄会、沖縄県高等学校長協会、一般社団法人 沖縄県ビルメンテナンス協会、沖縄県高等学校PTA連合会、公益財団法人 おきなわ女性財団、株式会社 エフエム那覇(計28社)

## 【プログラム】

3月21日（土）

11:30～20:30

開会式

Session1

Session2

ラボツアー・実験  
交流会

### Session 1：「どうやって（理系に）進路を決める？」

横倉 隆和（OIST神経結合の形成と制御研究ユニット グループリーダー）

（国立女性教育会館・女子中高生夏の学校・2016年度実行委員長）



「進路を決める」、「キャリアについて考える」とはどのようなことでしょうか？ 進路を決める基準（根拠）は何でしょう？ 教科の得意・不得意？ 自分が興味を持てること？ お話の前半では、進路を選ぶ時のポイントや大学・大学院で習得しておきたいことについて考えます。後半は、脊髄性筋萎縮症という難病に関連して、私たちの研究室でおこなっている取り組み（研究）についてお話します。

### Session 2：「より多くの女性が科学の分野に進むためにはどうすればよいでしょうか？」

トリップ ゲイル（OIST発達神経生物学ユニット 教授、大学コミュニティ支援担当 副学長）

世界的に、STEM（科学、技術、工学、数学）の分野では、男性の数が女性の数を上回っています。高校では男子と女子が同等の科学の能力を持っていると示しているにもかかわらずです。このセッションでは、なぜ多くの若い女性が科学の分野に進まないのか、そして、科学の世界に留まらないのかを考え、また、STEM分野の魅力とキャリア形成についても話し合います。



3月22日（日）

8:30～14:30

Session3

Session4

黒糖工場体験  
閉会式

### Session 3：「大好きな栄養学を続けられている研究者の一例」

伊藤 早苗（琉球大学熱帯生物圏研究センター ポスドク研究員）

大学で栄養学の面白さに目覚めました。修士課程修了後に栄養学の単科大学へ編入し、管理栄養士と博士号を取得後、栄養学分野で教育・研究職を得ました。ところが夫が沖縄へ。悩んだ末に退職して沖縄に参りましたが、栄養学の研究を続けることができました。私の経験が、少しでも皆さんの進路選択にお役に立てたらと思います。



### Session 4：「サトウキビと砂糖の知識」

高良 健作（琉球大学農学部 亜熱帯生物資源科学科 教授）

サトウキビと人類は、はるか遠い昔から関わりがあり、ここ沖縄の地においてはとても身近な農作物ですね。しかし、サトウキビを直接手にしたことがない方や、砂糖に対して誤った知識を持った方も一部でいます。このサイエンスキャンプでは黒糖製造工場を見学しながら砂糖を含む甘味料について学びます。



※進行状況によってプログラムは変更の可能性があります。

※全日程に参加できる方、宿泊できる方のみご応募ください。（一部のプログラムのみに参加することはできません。）

※本イベントの実施期間中は、主催者側にてレクリエーション保険に加入します。

※当日は写真撮影を予定しています。写真は後日SNS等によるこのイベントの紹介、報告書等として使用されます。あらかじめご了承ください。

1. 集合/解散場所：①琉球大学 ②沖縄県庁 ③那覇空港 ④ OIST

※時間等詳細については後日お知らせいたします。

2. 宿泊場所：ムーンビーチホテル

3. 持ち物：参加費 1,500円、筆記用具、水筒、活動しやすい服装

4. 応募方法：下記（a）または、（b）の方法でお申し込みください。

（a）オンラインでの応募：右のQRコードまたは、「琉球大学 リケジョ」で検索し、申込フォームよりお申し込みください

（b）FAX：申込書（別紙）を「098-895-8850」に送信



5. 選考結果：選考結果は2月下旬に通知いたします。応募者多数の場合は、学年、学校等のバランスも考慮し、申込書の記述内容等をもとに選考いたします。

